

葉山町子育て支援センター ぽけっと 〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色1493-1 TEL: 046-876-4152

新春を迎え、ぽけっともゆっくりスタートを切りました。長いお休みではありませんでしたが、年末からお会いしていなかったお子どもが少しはにかんだ様子でいらしたのが、とても印象的でした。お休みの間、ぽけっとに来るのを心待ちにしていたとのこと。お子どもの心に、ぽけっとの存在がそれほど大きいものとして在るということは、なんて嬉しいことでしょう！私たちも、しっかりエンジンがかかりました。本年も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

年末に、遠方から遊びにいらしたご家族がありました。ランチと、海で遊ぶのを目的にいらしたのに、その日は強風のため予定変更。行き場を探して検索していたら、ぽけっとに行き当たったとのこと。夕方までゆっくりと過ごし帰ろうとしたとき、2歳の弟さんが「まだ帰りたいくない！」と隅っこに逃げ込んで泣いていた。そのまま本棚にもたれかかって眠ってしまったのです。みんなでその姿を微笑ましく眺めながら、「普段はあまりこういうことはないんですけど…」とお父さんとお母さん。たまたま行き着いたぽけっとが、新鮮で、楽しかったのでしょうか。貝殻の代わりにぽけっとで遊んだ思い出をおみやげに、笑顔で帰って行かれました。見送りながら、『一期一会』という言葉が浮かびました。人と人、その時その一瞬の出会いを大切にしたい。そしてそれは毎日しているお子ども、お母さんにも思うこと。

「あのとき遊んでいただいたのがすごく楽しかったようで帰ってからもご機嫌でした」とか「先生の話が胸におちて帰ってからも優しくできました」などの嬉しいお話をうかがうと、胸が温かくなります。反対に、「せんせい、あそぼう〜」と誘ってくれたのに、電話や窓口の対応に追われて応えてあげられなかったときには、大切な機会を逃してしまったことを後悔します。帰り際に泣いて帰ったお子どものことが心からはなれず、「もう落ち着いたかな?」「ママはどんなお気持ちでいらしたかしら?」と、あれこれ考えたり。お子どもとの関わりは『一期一会』。その一瞬一瞬を大切にしたいですね。その一つ一つの積み重ねが、お子どもの豊かな成長につながっていくのですから…。今年はどうな出会いが待っているでしょう?ぽけっとに、ステキなおみやげをいっぱいつめて帰っていただけますよ…お待ちしています♪

● センター長 山浦彩子(やまうら あやこ)



1月のイベント

♪ いいこといいこと♪

- ◆ 「ふれあい遊び」 毎日 11:00-11:30
 <第3・5水曜> えいごで遊ぼう (松本ようこ先生)
 <第2第4木曜> おやこダンス (近ゆきこ先生)
 <第4火> マニスお話し会 (丸山さちこ先生)
- ◆ 「0歳児つどいの広場」 毎週木曜 10:00-11:00

1月の開館時間

- ◆ 大掃除 1/30(金)
 ※広場のご利用は11:00からになります
- ◆ 休館日 日曜・月曜・祝日
- ◆ 職員会議 1/19(土)
 ※広場・一時預かりのご利用は13:00迄になります

いいこと♪いいこと♪
広場の遊びから

ぽけっとの庭から
～sense of wonder(センス・オブ・ワンダー)～

ぽけっとにはじめて来たとき、周りの木々をみていいところだな♪と思っただけです。ぽけっとの庭からは、大きな常緑の木々が見えます。散歩できるお隣の葉山緑地、住宅地が多くなった今では少なくなった大きい木々。秋、どんぐりがなり、ぽけっとの庭にもころりころり落ちてきます。コナラやエノキなどの多様な落ち葉。菌類や小さな虫たちなどが葉を食べ、その栄養たっぷりになった土を自らの根に与え育つ木々。少しみてまわるだけでも数種のどんぐり、カタツムリの殻…その季節ならではのぽけっとの庭の風景があります。虫たちは、「この木、この葉っぱが好き」という食樹、食草が決まっている虫もいます。落ち葉を利用して冬越ししている虫もいます。自然には無駄なものは何一つありません。そんな視点で庭をみるとまた新しい世界が加わるかもしれません。

遊具やおもちゃでの「あそび」と、自ら見出す「あそび」。その場所で「なにをしてあそぶ」か。はたまた何をもって「あそび」というのか。子どもの「あそび」というのは、とても奥深い世界です。日々いろいろな気づき、不思議さに目を見張る感性を、レイチェル・カーソンは、sense of wonderといいました。小さな子どもの頃のそれは、「人育ち」の上で、とても大切なものになると思います。そして、それは森のなかだけではなく、身の周りに、足元に、「しぜんに」在る、はじまるものでもあるかもしれません。夢中になる時をいっぱいにして、知るこことより感じることを。子どもに添いながら、そんな心ある大人になれたらと思います。

◆ 石井 由樹子 (いしい ゆきこ) 事務 担当 ◆



一時預かり
ぷちのお部屋から

お子どももお母さんも、「安心」を第一に

今年も、年開けて間もなくドッご予約の電話が入り、すでにキャンセル待ちの日もたくさん…。なかなかご予約が取れないときには申し訳なく、私たちも悩ましく感じています。お困りの場合にはファミリー・サポート・センターにお繋ぎしたり、一緒に別の手立てを考えるお手伝いをさせていただきますので、お一人で悩まずに、どうぞ相談ください。

前文で書きましたように、ぷちでお預かりするお子どもとも『一期一会』一回一回のお預かりを大切に考えています。この出会いが、お子どもの心にどのような色や形で残っていくのかを考えると、とても緊張します。しかしその緊張はお子どもに伝わるもの。保育をする私たちが、どしどし「泣いてもいいよ。必ず楽しいことがまっているからね」「ママがお迎えに来るまでさみしくないように、一緒にそばにいるから安心してね」という気持ち、そして何よりワクワクしながらお待ちしています！

「一時預かり」は、初めてで不安なお子どもさん、毎日違うメンバー、年齢や、時間もさまざま。継続して通う保育園や幼稚園などとは違う難しさがあります。「お弁当を残さず食べる」「お友だちとうまく遊ぶように」「幼稚園に入るための準備」など、慣れてくると自然に身に着くことはたくさんありますが、お子どもさんの先の見通しを立てた指導的な保育を目的としている場所ではありません。見えない心の成長につながる一番大切な、「安心」を第一に過ごします。社会に出る初めの一歩で、家族以外の人と接し(外の世界もいいものだな♡)と感じてくれるといいなあと思っています。そのためには、お母さんが「安心」していただけることが大切です。ご心配なことがありましたら、どうぞお声をかけてください。お子どもさんのこと、一緒に考えましょう♡

◆ 山浦 彩子 (やまうら あやこ) センター長 ◆



ぽけっと

2013



ことよろしくおねがいいたします！

♪いいこと♪いいこと♪

毎日11:00から約30分、みんなで手遊びをしたい絵本を読んだりダンスを
 したいしています。ぽけっとでは♪いいこといいこと♪と呼んでいる、ふれ
 あい遊びの時間です。♪はじまるよはじまるよ…アンパンマン♪や♪いっ
 ぽんといっぽん♪、アンパンマン体操などおなじみのふれあい遊びの日も
 あれば、さまざまなジャンルの♪いいこといいこと♪をしています。各ジャ
 ンルにそれぞれ先生をお招きして行っています…たとえば、隔週水曜日は
 ♪えいごdeあそぼ♪、第2第4木曜日は♪おやこdeダンス♪、月1回火曜
 日はオランウータンのマニスのお話し会etc. おやこ園芸の♪いいことい
 いことspecial♪とあわせて、これからもよろしくおねがいいたします！



えいごdeあそぼ
月2回水曜

ようこ先生の時間は、音楽やゲームなどであ
たのしく英語に触れ合うことができます



クリスマスコンサート
12/25(火)



マニスのお話し会
月1回火曜



おやこdeダンス
第2第4木曜



ベイツさんがうつくしいフルートの音色を
聴かせてくださいました

写真は12/11(火)に行った「工作でマニスをつくっちゃおう♪」の様子
(毎回、絵本&人形作家の丸山さんをお迎えして行います)

ユキ先生がやってくださる親子で楽しめる
ダンス&ママ・ストレッチのプログラム



子のこころ 親のこころ ~子育てをこころの発達から考える~

七転び八起き・・・失敗してもくじけない強さは信じる気もちから

お正月にTVで駅伝をテーマにした映画『風が強く吹いている』(原作 三浦しをん)
 を観ました。走るために生まれてきたような主人公カケルは、エリート選手として
 生きる道に背を向け、自分を生かす場所を見つけられないまま大学生になるが、
 仲間と出会いともに箱根駅伝をめざすことをきっかけに変わっていく…挫折を乗り
 越えて「速いだけではない」「勝つだけではない」ほんとうの強さを知ります。

折しも今年の箱根駅伝で日本体育大学が30年ぶりに優勝。名門校が前年19位
 シード落ちという屈辱的な挫折から鮮やかな復活を遂げて話題になっていました。
 昨年10月の予選会をトップ通過、往路復路を制しての完全優勝はまさに起死回
 生の勝利といえるでしょう。「昨年の無残な結果も今年につながったのだから、そ
 れでよかったと思う」MVPに選ばれた服部主将はさりとて快挙をそう表現しまし
 た。つづいて各選手がインタビューに答えて、全部員がいかに互いを信頼して一
 丸となって練習に打ち込んだか話すのを聞いているうちに、「逆に挫折があったか
 らこそ彼らの気もちがまどまり強くなった」と理解する方が自然な気がしました。

映画のクライマックスで「仲間が僕を信じてくれたから強くなれた」と、カケルが
 タスキをつなぐ仲間のもとへ疾走するシーンでは胸が熱くなりました。『自分を信
 じられること、人を信じられることが強さなのだ』と実感できたから。駅伝はひとり
 が速くても勝つことはできない。10人すべてがタスキをつなげなければ成し遂げら
 れない。それでも走るときはひとり。まるで「人それぞれの人生だけれど、ひとりで
 は生きられない」社会の縮図のようです。人生に浮き沈みはつきもの、挫折や失
 敗を怖れる必要はありません。むしろ怖れるべきは、挫折や失敗で自分や他人を
 信じられなくなること。信じて前を向けば、必ず道は開ける…新たな年の初めに
 ほんとうの強さとは何かを考えるよい機会になりました。

七転び八起き縁起物、起きあがり小法師(ごぼし)のよ
 うに「倒れても起きあがる。失敗してもくじけない」。
 親として人として自分も強くありたい。そして、
 我が子にも強くあってほしいですね。



Q. 自分を信じる気もち
はどうしたらできるの？

A.

自信または自己肯定感ともいわれる「自分を信じる気もち」の基礎は、乳幼児期のお母さんや家族との関係性の中
 で育まれます。「できなくても大丈夫」と、ありのままの自分でいいと思えることが最高の自己肯定で、
 こころがとても安定して幸せと感ずることが出来ます。

新生児の頃は、泣いて欲求を伝えたらぐりかえし応えて
 もらって⇒求めてもいいと信頼する <基本的信頼>



「イヤイヤ」「じぶんで」と自己主張するようになったら、
 主張を認めて共感してもらって⇒自分はいかでいい
 と自分の存在を認めることができる <自己肯定感>

自分が楽しいとき、いっしょに楽しんでもらえる＝共感
 がこころを育てます。自分だけでなく、周囲の人々、相手
 を信じることもできるようになります。そこがしっかりとでき
 ていないと、しつけはスムーズに進みません。まずは自己
 肯定ができていること。そうすれば、自分から進んででき
 る「やる気」があるので厳しくしつけなくても大丈夫♪